

TDU *Agora*

特集

令和2年度 大学院修了式・大学卒業式を挙行 1

CONTENTS

中学校・高等学校 卒業証書授与式	2	News	5
TOPICS	3	Information	7
キャンパスよもやま情報	4		



大学院修了式・大学卒業式 マスクを取って記念撮影



特集

令和2年度 大学院修了式・大学卒業式を挙行 ～2,434名が新たな門出～

3月17日に、本学としては2年ぶりに日本武道館にて、「令和2年度大学院修了式・大学卒業式」を挙行し、大学院博士課程10名(課程による博士9名、論文による博士1名)、大学院修士課程434名、学部生1,990名が新たな門出を迎えました。今年度は、コロナ禍を受け、新型コロナウイルス感染症拡大防止を最優先とする、例年とは違う修了式・卒業式となりました。

学長式辞では、射場本忠彦学長より「何が正しいか、何をすべきかを自分で考え、批判し、判断し、失敗を恐れずに行動すること、その結果は自分で引き受け、自分で責任を持つことです。人の心を理解し『技術は人なり』のマインドを備えた技術者として、世の中に貢献されることを切望します」とはなむけの言葉が贈られました。

続いて、学位記、丹羽保次郎賞並びに学長賞の授与があり、各専攻・学科等の総代及び各賞受賞者の代表等が学位記並びに表彰楯を受け取りました。また、石塚昌昭理事長並びに上西栄太郎校友会理事長より、祝辞が述べられました。

その後、卒業生を代表してシステムデザイン工学部の1期生である情報システム工学科の三浦向平さん、デザイン工学科の出口夕里菜さんが『技術は人なり』という言葉を抱き、世界に貢献できる人間になれるよう、精進していく決意です」と謝辞を述べました。

コロナ禍という経験したことがない厳しい状況を乗り越えた卒業生の皆さんの今後の活躍を祈念いたします。



新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、式典参加は修了生、卒業生のみに限定。代わりに式典の様子をインターネットでライブ配信。



式典後の学位記の授与は学部ごとに分かれ、日本武道館、東京千住キャンパスでそれぞれ行われました。

令和2年度 中学校・高等学校 卒業証書授与式

東京小金井キャンパスにおいて、3月6日に高等学校 第70回、3月19日に中学校 第23回の令和2年度卒業証書授与式が執り行われました。高等学校は緊急事態宣言の延長が決まった翌日、中学校は宣言解除の方針が発表されたものの、新規感染者の下げ止まりが続く中での開催でした。恒例の校歌斉唱、在校生送辞、全体合唱を省略し、十分な感染予防策を講じた上で式典を実施しました。

式終了後は、マスクを外したり着けたり、いつもより

忙しい記念撮影となりましたが、皆、笑顔を見せてくれました。

コロナ禍でも人生の節目を晴れやかに迎えた生徒たち。静かに行われた卒業式は特別な思い出になったのではないのでしょうか。保護者の皆様におかれては様々な思いでこの日を迎えられたことと思います。教職員一同にとっても感慨深い日となりました。卒業おめでとうございます。



高等学校卒業式 卒業生答辞



中学校卒業式 開会

東京電機大学「研究ブランディング事業」

サイバーセキュリティシンポジウム in TDU 2021

～地域医療用IoTシステムの共通基盤の研究開発成果と今後の展開を発表～

研究推進社会連携センター

3月4日にオンライン配信にて、「サイバーセキュリティシンポジウム in TDU 2021」を開催し、100名を超える方々にご参加いただきました。

本シンポジウムでは、東京電機大学研究ブランディング事業として実施した、「リモートメンテナンスを伴うTrustworthyな地域医療用IoTシステムの共通基盤の研究開発」について発表がありました。

発表に先立ち、本学学長の開催挨拶の後、総務省様、経済産業省様、内閣官房 内閣サイバーセキュリティセンター様より、サイバーセキュリティ政策の視点からご挨拶をいただきました。

講演では、まず、招待講演として共同研究者の米国メトロポリタン州立大学のJigang Liu 教授から、「米国における医療用IoTのセキュリティ研究の動向」に関する講演をいただき、続いて本学教員より、研究開発の背景や趣旨、今年度の研究成果の詳細、今後の展開と新たなアプリケーションについての発表がありました。

オンライン形式により、米国からライブ配信で報告が行えたとともに、関西や九州など首都圏以外の地域からでも聴講が容易にできる等、関心ある多くの方に参加いただくことができ有意義なシンポジウムになりました。



米国メトロポリタン州立大学のJigang Liu 教授



研究の概要を土肥健純客員教授が発表



オンライン報告会の集合写真

神山奨学金海外派遣報告会 ～オンラインで奨学生が 留学体験を報告～

国際センター

神山治貴海外留学派遣奨学金奨学生による報告会を、今年度はオンラインで2月19日に開催しました。本奨学金は、本学名誉博士神山治貴様のご厚志により設立され、学部在学中に学長賞を受賞し、修士または学部在学中に英語圏の大学等に留学を希望する学生に給付されます。

当日は神山治貴様をお招きし、本学からは平栗健二統括副学長、宍戸真国際センター長、長原礼宗教授、奨学生の皆さん等が出席されました。今年度は新型コロナウイルスの影響により、留学途中で帰国しオンラインで留学を継続した学生や、現地への渡航が叶わず、留学当初よりオンラインでの受講となった学生からの報告もありました。

神山様からは英語によるコミュニケーションの重要性についてのお言葉をいただき、平栗統括副学長からは厳しい環境でも希望を持って頑張してほしいとご挨拶をいただきました。宍戸教授による留学先紹介の後、留学体験談では、留学先での授業や生活などについて、また現在留学を目指している学生からは、今後の学習計画や留学先大学での履修科目などについて発表がありました。



神山治貴名誉博士もオンラインで参加



昨年のリーダーズキャンプの様子

第26回 リーダーズキャンプ ～学生団体代表対象者の研修会～

自治会執行委員会 委員長
太田啓貴(工学部 情報通信工学科 2年)

2月9日に第26回東京電機大学リーダーズキャンプがZoomにて開催されました。本学では毎年この時期に、次期学生団体リーダーの素養を高めることを目的としたこの研修を行っています。

今回は例年と異なり、オンラインでの開催となりましたが、東京千住キャンパス、埼玉鳩山キャンパスの各学生団体代表者119名が参加しました。チャット機能などを使用して、他キャンパスの団体の意見や現状を聞くことができ、とても参考になりました。

また、講師の株式会社edu-activators代表取締役 門田卓史氏より、リーダーの素養についてはもちろん、団体活動が制限される現状でどのようなことに気をつけるべきか、今後の活動に関して、何に力を入れるべきかなどの講義を受け、この社会情勢での団体運営に対する不安が軽くなったように感じます。

この研修を通して、団体のリーダーとしてだけでなく、各学生団体をまとめる自治会執行委員会としても大切なものを学ぶことができました。



講師の株式会社edu-activators代表取締役 門田卓史氏(写真は昨年)

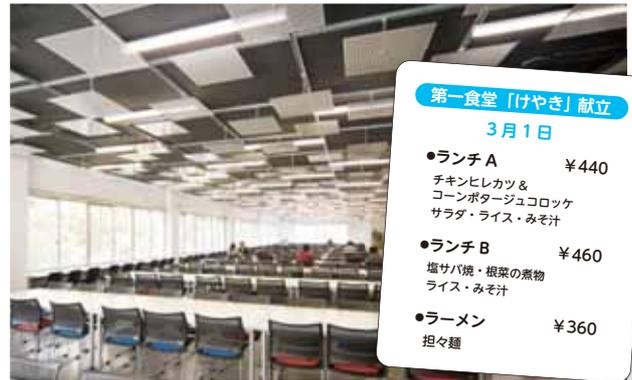
東京千住キャンパス
ひまわりくん



最先端の技術による省CO₂エコキャンパスとして高く評価されている東京千住キャンパスでは、夜間電力で温水や氷を作り、蓄えた熱を昼間の空調に利用しピークカットに努める世界初の連結縦型蓄熱槽の採用、LED等の採用や各種センサ(明るさ、人感、温感)での空調の制御など、様々な先進的環境技術を導入しています。

近隣の皆さまに配慮した、一部の部屋のブラインドが日没時間とともに自動的に降りるシステムでは、5号館屋上にある通称「ひまわりくん」と呼ばれる装置が1日中太陽の動きを追い日没を検知しています。かわいい名前ながら高性能な「ひまわりくん」は都市型キャンパスの強い味方です。(管財部 内藤)

埼玉鳩山キャンパス
学生食堂



第一食堂「けやき」献立	
3月1日	
●ランチ A	¥440
チキンピレカツ & コーンポタージュコロケ	
サラダ・ライス・みそ汁	
●ランチ B	¥460
塩サバ焼・根菜の煮物	
ライス・みそ汁	
●ラーメン	¥360
担々麺	

埼玉鳩山キャンパスの学生食堂は3か所ありますが、昨年2月から学生食堂けやきの単独営業が1年以上続いています。本来であれば、昨年4月にKomorebi(旧・樹海)がリニューアルオープンするはずでしたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う入構制限、オンライン授業等により、延期となりました。学内の売店やケータリングも休業中で昼食が不便になっている学生や教職員のために、学生食堂けやきでは日替わりランチや週替わりラーメンの提供など、工夫をしています。新年度からは学生が登校を再開して、元通り3つの学生食堂が揃って営業することを期待しています。

(理工学部事務部 長坂)

東京小金井キャンパス
高等学校卒業記念植樹

東京電機大学高等学校3年生から、令和2年度の卒業記念品として、ソメイヨシノ(さくら)を正門の南側(駅側)に植樹いただきました。東京小金井キャンパスには歩道に沿って樹齢30年以上の桜並木がありますが、老朽化のため伐採され空いていた部分に若木が立ちました。周りの樹と比べると、弱々しくも見えますが、大きく逞しく成長することを期待させ、本校を巣立ち新しい人生に向けてその第一歩を踏み出そうとしている卒業生のようです。

(高等学校教頭 平川)



校友会だより

第17回職域電機会長会の開催

1月23日に職域電機会長会を開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言下で70名近くの会員が一堂に会することは困難であることから、Zoomによるリモート開催となり、校友会では新たな試みとなりました。

会長会の内容も、五十嵐洋学生支援センター長による「仕事研究セミナー」リモート開催説明、各電機会におけるリモート会議・テレワーク状況のアンケート結果報告など、コロナ禍における新しい取り組みが数多く披露されました。



本会場(校友会会議室)の様子



受賞
情報

顕著な活躍をした電大人を紹介します。



熊木 陽洋さん(修士2年)
未来科学研究科 ロボット・メカトロニクス学専攻
(情報駆動制御研究室)
ICAMechs2020
Best Student Paper Award
令和3年1月



川島 滉太さん(4年)
工学部 電子システム工学科(光応用工学研究室)
レーザー学会学術講演会 第41回年次大会
優秀ポスター発表賞
令和3年1月21日



津國 和泉さん(修士2年)
未来科学研究科 情報メディア学専攻
(音メディア表現研究室)
IWAIT 2021
Best Paper Award
令和3年1月6日



飯塚 翼さん(4年)
工学部 先端機械工学科(計測工学研究室)
2020全日本エンデューロ選手権
国際A級 7位
令和2年



勝山 滉平さん(4年)
システムデザイン工学部 デザイン工学科
(インタラクティブ研究室)
2021年バレンタインプロジェクト
ラジオドラマ原案募集『for you... 大切なあなたへ』
短編部門優秀賞
令和2年12月



後藤 晃子さん(修士2年)
理工学研究科 電子・機械工学専攻
(バイオメカトロニクス研究室)



津田 浩平さん(修士2年)
理工学研究科 電子・機械工学専攻
(バイオメカトロニクス研究室)



清水 美穂さん(4年)
未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科
(ロボティクス研究室)
第21回計測自動制御学会
システムインテグレーション部門講演会
SI2020 優秀講演賞
令和2年12月25日



Snym(スナイム)
福田 翔悠さん、大原 音緒さん、
飯田 悠暉さん、岡野 尊さん
未来科学部 情報メディア学科(2年)
ゲームクリエイター甲子園2020
ユーザー大賞、企業賞、9月話題賞、10月話題賞
令和2年12月19日



スーパースターマイน์
待永 康佑さん、飯田 悠暉さん、
菊地 歩夢さん
未来科学部 情報メディア学科(2年)
宮武 響さん
工学部 先端機械工学科(2年)
松平 陽さん
未来科学部 情報メディア学科(1年)
ゲームクリエイター甲子園2020
**総合大賞3位、審査員賞
話題賞**
令和2年12月19日



徳永 弘子研究支援研究員
システムデザイン工学部 デザイン工学科
(インタラクティブ研究室)
電子情報通信学会 HCG シンポジウム2020
最優秀インタラクティブ発表賞
令和2年12月17日



中野 燎平さん(4年)
工学部 電気電子工学科(高電圧電力工学研究室)
2020年度 放電学会若手セミナー
放電学会優秀発表賞
令和2年12月5日



山田 亮佑さん(修士1年)
未来科学研究科 ロボット・メカトロニクス学専攻
(知能機械システム研究室)
ACCV
Best Paper Honorable Mention
令和2年12月4日



竜田 藤男講師
未来科学部情報メディア学科
山下 健一郎教授
サレジオ工業高等専門学校
(平成16年3月 工学研究科 博士課程電気工学専攻修了)
杉元 紘也准教授
工学部電気電子工学科
西方 正司名誉教授
元 本学電気電子工学科教授
ICEMS 2020
Excellent Paper Award
令和2年11月27日

(受賞日順)

※所属・学年は受賞時

ピックアップ! 出版局



出版局より、新刊の紹介や話題の本、イベントなどのホットな情報を掲載!

2021年2月の新刊は、授業および電気主任技術者試験に必携の書が発売!



電気法規と電気施設管理 令和3年度版

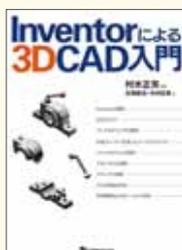
竹野正二 著

A5判 332頁 2,970円

電気関係の法令に重点を置き、電気関係の初学者向けにやさしく解説。また第2～第3種電験受験者が習得しておかねばならない基本的な事項をまとめた。

<ピックアップ! 単行本>

今回は、教科書としてだけでなく、自学書としても多くの方に利用されている以下の書籍をご紹介! 多くの学校に教科書採用いただいている点や、ネット書店でも売り上げ良好の一冊です。



Inventorによる3D CAD入門

村木正芳・北洞貴也・木村広幸 著

B5判 144頁 2,420円

「軸受クランプ」の作成を例に解説。一つのをゼロから作り上げる工程を手順に沿って実習することで、達成感・満足感とともに、CADの操作法を確実にマスターする。

★出版局ではメールマガジンを配信しております。ご希望の方は、当URLよりご登録ください!
<https://web.tdupress.jp/mailmagazine/>



新しい時代を拓いた科学・技術 vol.40

ロバート・ゴダード アメリカ合衆国 ● 1882年～1945年

近代ロケットの父 — 世界初、液体燃料ロケット

「何が不可能なのかを言うのは難しい。
なぜなら昨日の夢は今日の希望であり、
明日の現実なのだから」

宇宙への旅につながった

19世紀末、宇宙に関するSF小説が盛んに発表されるなか、ロシアの科学者ツィオルコフスキーが世界で初めて、科学としてロケットを研究しました。世紀が変わり、ツィオルコフスキーの研究を知ったアメリカの大学教授だったゴダードは、苦心の末に1926年3月、ガソリンと液体酸素で推進する人類初の液体燃料ロケットの打ち上げに成功。飛行時間2.5秒、最高到達高度12m、到達水平距離56m、平均時速100kmでした。ゴダードはその後も研究を続け、1935年には速度1125kmと高度2.3kmを達成。しかし当時は、真空の宇宙での物体移動は不可能とされていたため、マスコミなどがゴダードを痛烈に批判。人間不信になりながらも、それでもゴダードはリンドバーグの援助などで単独で研究を進めました。ゴダードが評価されたのは、死後20年以上経った1969年でした。ゴダードは「近代ロケットの父」と称されます。



©TDU

「高校で学ぶべき知識さえもっていないようだ」などと、ゴダードを酷評したニューヨーク・タイムズは、アポロ11号の月面着陸(1969年7月20日・米国時間)の直前に社説を撤回、「先進的な実験・研究」と彼の業績を称えました。また、彼に与えられた200超の特許は彼の死後、そのすべてをアメリカ政府が買い取りました。NASA最初の宇宙飛行センター「ゴダード宇宙飛行センター」(1959年設立)は、彼にちなみ命名されました。

今月の俳句

教職員親睦会「千住俳句会」

ふと ころに いのち は ぐくみ 山 眠る
あらめ だ た この ころ 見 ぬ に 初 雀
七草 粥 舌 に や け どの 旨 さ かな

廻子(大園成夫)

明(井川明)

英次(武田英次)

Information

TDUCraft

～マイクラで大学のキャンパスを再現！～

TDUCraftは、昨年末に行われた「第18回 TDU アイデアコンテスト」で優秀賞を受賞した学生団体のアイデアを形にしたプロジェクトです。

コロナ禍で大学の入構制限がかかる中、Minecraft上で大学のキャンパスを再現し、オンラインでみんなが繋がれる場としています。また、再現ワールドの他にサバイバルワールドも用意しています。

まだまだ制作途中ですが最近は大学だけではなく、北千住駅周辺の建築も充実。“建築”に参加したい方は大歓迎です。詳しくは下記ホームページをご覧ください。
(現在、電大生のみ参加可能です)

<https://www.tducraft.com/>



顧問・学長対談

～コロナ禍の経験を理系の教育に生かす～



令和3年1月19日、学術顧問 吉川弘之先生にご参加いただき「コロナ禍の経験を理系の教育に生かす」をテーマに、射場本忠彦学長ほか役職者との対談をオンラインで開催しました。

対談の内容の一部を大学ホームページで紹介しています。ぜひご覧ください。

<https://www.dendai.ac.jp/about/tdu/president/taidan2020.html>



編集後記

3月17日に大学院修了式、大学卒業式が執り行われました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として式典参加は修了・卒業生のみ限定となり、ご父母の皆様にはご来場いただけませんでしたが、学生が集まり無事にこの日を迎えられたことを嬉しく思います。これからの、皆様のご健勝とご多幸をお祈りしております。

TDU

学校法人東京電機大学 (総務部企画広報担当)

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

TEL. 03-5284-5125 FAX. 03-5284-5180

E-mail: soumu-kikaku@jim.dendai.ac.jp

<https://www.dendai.ac.jp/>



この印刷は環境保護の為、印刷に伴う廃液を排出しないシステムで印刷されています。